

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 東京都下水道局、 (一社) 東京都下水道工事專業者協会	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 神保 悟志 (下水道局総務部広報サービス課) 電話 03-5320-6515 FAX03-5388-1700 E-mail Satoshi_Jinbo@member.metro.tokyo.jp
代表者氏名 東京公営企業管理者下水道局長 松田 芳和 東京都下水道工事專業者協会会長 武井 久雄	
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 行政広報部門	事例名 「工事のお知らせ」ビラの裏面を活用したPR
---------------	------------------------------

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

◎「工事のお知らせ」ビラの裏面を活用して下水道局が伝えたい“旬”な出来事をPR

○裏面活用配布実績

毎回100,000枚作成し、約2~3か月間にわたり東京23区内で行われる工事の際に戸別訪問や工事説明会などで直接配布

第一弾：平成23年「ダイエットレンピ」

第二弾：平成25年「東京都虹の下水道館」リニューアルオープン

第三弾：平成26年「油・断・快適！下水道」キャンペーン

第四弾：平成27年予定「下水道展‘15東京」開催案内



◎「工事のお知らせ」ビラの配布目的

○下水道工事を円滑に進めるためには都民、事業者の皆さまの協力と理解が何よりも重要です。そこで工事を施工する際、受注者が工事箇所周辺の皆さまに説明会や戸別訪問により、できる限り直接手渡しで丁寧に工事の目的、内容、工期などを説明しています。

◎発案に至るまで

○下水道事業に携わる企業が加盟している(一社)東京都下水道工事專業者協会では、都民、事業者の皆さまに下水道事業をわかりやすくPRできる方法について、協会内にPRプロジェクト部会を設置し検討、上記の提案に至りました。



エントリー事例の特徴

通常、下水道の重要性をPRし理解と協力を深めてもらう取組は行政が行い、工事が円滑に行われるための説明は受注者が行っています。

今回の取組はこの垣根を越えて「官」の役割を「民」自らが考え、実行している点にあります。

一見簡単そうなことのように見えますが、工事のお知らせだけでなく下水道局事業を説明することは、社員一人ひとりがその事業に関する正しい知識を身につけるとともにわかりやすく説明できなければなりません。その点でも下水道の広報パーソンとしての自覚が必要です。

一方で、官民の協力関係により、こうした取組はどの自治体でも行えることも特徴の一つです。

付属資料の提出	<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし (どちらかに○)
---------	--